



# 学校だより



平成 28 (2016) 年度 12 月号  
大阪市立天下茶屋小学校



自分たちの暮らす地域に誇りを持ち、  
心豊かに生きる「天茶っ子」



天下茶屋小学校の特色ある教育活動の一つに「抹茶茶碗」づくりと「お茶会」があります。  
堺筋を南に進み日本橋、恵美須町から西成区内を南下、安立を経て堺、和歌山に至る住吉街道・・・。  
豊臣秀吉も住吉神社、あるいは堺政所への往還の途中、千利休その他の臣下を従え、天満宮紹鷗杜（てんまんぐうじょうおうのもり）（現在の岸里2丁目）付近の茶屋に休憩したことから、太閤殿下が憩われた「殿下茶屋」、天下人の「天下茶屋」などと呼ばれ、その名が知られるようになり、この地域一帯も「天下茶屋」と言われるようになったとされています。

「天下茶屋」が豊臣秀吉や千利休の師である武野紹鷗ゆかりの地にあることから、本校の5年生が地域のゲストティーチャーの方をお招きして「お茶会」でお点前を教わり、またそのお点前に用いる「抹茶茶碗」をつくる活動も長年にわたって取り組んでいます。この抹茶茶碗は毎年実施している校内の展覧会にも展示し、地域・保護者の皆さまにも鑑賞していただいています。

今年の展覧会は今年14日(水)～16日(金)の期末個人懇談会の期間中に実施予定です。

茶道は日本の伝統的な文化ですが、この体験活動を通してゲストティーチャーの方から単に茶碗を廻して抹茶を飲むだけというものではなく、いろいろなものが包含された総合芸術であることを教わることになります。子どもたちの感性が磨かれること、ものの見方や考え方を深め合うことなど、豊かな心の育成につながる体験活動と位置付けています。

本校には、毎朝8時45分から55分の間に「朝の学習タイム」の時間があります。ある日、読書をしているクラスがあったのですが、一人一人が静かに本を読んでいるのにとっても感心したことがありました。10分ほどの時間ですが、落ち着いた気持ちで自分の読みたい本を読むことは楽しいことですし、新しい知識や世の中の人がい러ろいろなことに取り組んでいることなどがわかることもあります。

また、読書の仕方もうろろあり、読んだ本について紹介し合ったり、意見を交換し合ったりするのもいいですね。心が豊かになってきます。

ご家庭におかれましても、お子様が友だちとがんばったこと、楽しかったこと、残念だったこと・・・、どんなことでもいっしょに喜び合い、考え合ったりすれば、今度はもっとがんばってみようという意欲や次への自信につながりますし、何よりも家族間の信頼感が高まり、それがしっかりと豊かな心を醸成することにもなります。

読書でもスポーツでも何でもよいのですが、わたしたちの心が楽しくて豊かになるものを見つけ、それを続けられればよいと思います。ご家庭でも心が豊かになるものをご家族でたくさん見つけてください。

最後になりましたが、今年も残り少なくなってきました。皆さま方がよいお年を迎えられますようお祈りいたします。  
(校長 大島)



## 個人懇談会とふれあい展覧会



12月14日(水)・15日(木)・16日(金)

2学期末の個人懇談会を行います。ご出席のほどお願いいたします。

また同時に、この3日間、体育館にて「ふれあい展覧会」を開催いたします。どうぞご観覧ください。



## 学校保健委員会



12月6日(火) 14:45～15:30

PTAと共催で「学校保健委員会」開催します。

子どもたちによる姿勢アンケートの調査発表や学  
校医の先生方からのお話があります。

参加対象は、5・6年生と保護者です。多数のご参加をお願いいたします。